

I 第17週の発生動向 (2016/4/25~2016/5/1)

インフルエンザについては、八戸保健所、東地方+青森市保健所管内で**警報**が、上十三保健所、五所川原保健所管内では**注意報**が解除されました。

II 第17週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減																
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																	
小児科 内科	インフルエンザ															400	6.15	-325													
小児科	RSウイルス感染症															4	0.50	2	0.20	6	0.14	1									
	咽頭結膜熱															4	0.50	2	0.22	3	0.30	2	0.40	3	0.50	14	0.33	5			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎															14	1.75	13	1.44	29	2.90	2	0.40	5	0.83	9	2.25	72	1.71	4	
	感染性胃腸炎															42	5.25	28	3.11	49	4.90	8	1.60	25	4.17	11	2.75	163	3.88	-32	
	水痘																			3	0.30	1	0.20			2	0.50	6	0.14	-5	
	手足口病																														-1
	伝染性紅斑															11	1.38	1	0.11	1	0.10					2	0.50	15	0.36	-1	
	突発性発しん															6	0.75	7	0.78	7	0.70			1	0.17	1	0.25	22	0.52	-3	
	百日咳																							1	0.17			1	0.02	1	
	ヘルパンギーナ																													0	
眼科	流行性耳下腺炎															12	1.50	1	0.11	3	0.30	1	0.20			1	0.25	18	0.43	-1	
	急性出血性結膜炎																														0
	流行性角結膜炎															1	0.50					1	1.00					2	0.18	0	
基幹	クラミジア肺炎																														0
	細菌性髄膜炎																														0
	マイコプラズマ肺炎																			1	1.00					2	2.00	3	0.50	-4	
	無菌性髄膜炎																														0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)																					2	2.00					2	0.33	-3	

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者発生無し。

- 結核(二類全数把握疾患): 青森市+東地方1人、八戸3人、五所川原1人、上十三3人 (2016年計:92人)
- A型肝炎(四類全数把握疾患): 八戸1人 (2016年計:1人)
- アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): むつ1人 (2016年計:2人)

IV 病原体検出情報

検出情報はありませんでした。

感染症の窓

伝染性紅斑 (五類定点把握疾患)

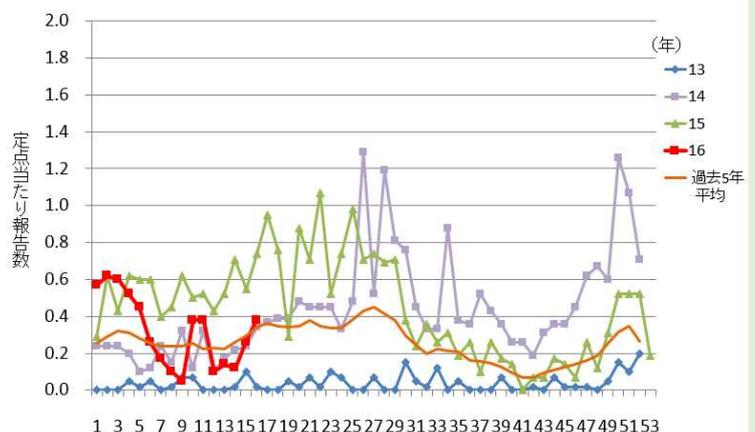
伝染性紅斑の病原体は、ヒトパルボウイルスB19です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」とも呼ばれています。10~20日の潜伏期間の後、頬に境界鮮明な紅い発疹がみられます。これらの発疹は1週間前後で消失しますが、なかには長引いたり、一度消えた発疹が短期間のうちに再び出現することがあります。

頬に発疹が出現する7~10日くらい前に微熱やかぜのような症状が見られることが多く、この時期にウイルスの排泄量が最も多くなります。発疹が現れたときにはウイルスの排泄はほとんどなく、感染力はほぼ消失しています。

青森県の過去5年間の定点あたり報告数の平均は、第16週から増加する傾向にあります。

2016年は、第10週に増加し、第12週にいったん減少したものの第15週から再び増加したことから、今後の動向に注意が必要です(右図)。予後は通常良好ですが、妊婦が感染すると胎児水腫や流産の原因となることがあります。流行時期にはかぜのような症状の方に近づかない、**手洗いを励行**することなどが大切です。詳細はこちらをご覧ください 国立感染症研究所 HP: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04_23/k04_23.html

青森県の伝染性紅斑 定点あたり報告数 (2013-2016年)



V 県内インフルエンザ情報 (2015年第53週～2016年第17週)

第17週の患者報告数は400人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは391人

【A型：12人、B型：379人】

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
保健所名																		
東地方			4	2	7	5	6	7	5	2	2	5	8	5	3	7	10	8
弘前	9	32	62	194	195	212	222	130	123	137	158	241	217	187	112	133		57
八戸	3	37	217	396	490	399	310	190	205	167	201	166	180	222	255	335	225	132
五所川原	6	14	38	84	84	125	163	119	104	52	50	73	103	100	81	71	74	42
上十三	1	16	35	89	178	232	264	251	236	215	160	201	221	241	176	128	106	50
むつ	2	6	24	40	86	159	197	241	184	175	219	222	123	63	25	49	35	27
青森市	14	37	83	264	328	455	481	282	241	250	258	233	244	305	171	164	170	84
合計	35	142	463	1069	1368	1587	1643	1220	1098	998	1048	1141	1096	1123	823	887	620	400

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
保健所名																		
東地方			4	2	7	5	6	6	1	1	1	3	3	2				
弘前	9	32	61	193	194	208	218	124	103	90	64	33	28	27	13	20		2
八戸	3	34	215	377	467	354	282	168	181	128	119	84	67	37	16	28	10	5
五所川原	6	14	37	84	82	125	160	117	92	39	10	7	11	9	4	2	5	
上十三	1	14	34	80	159	202	208	211	149	143	85	122	96	78	53	27	13	1
むつ	2	6	22	36	60	98	144	163	122	104	110	138	64	20	1	5	4	2
青森市	12	37	82	252	307	422	453	236	165	98	56	39	28	28	11	5	7	2
合計	33	137	455	1024	1276	1414	1471	1025	813	603	445	426	297	201	98	87	39	12

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
保健所名																		
東地方								1	3		1	2	4	3	3	7	10	8
弘前			1	1	1	4	4	6	20	47	94	208	189	160	99	113		54
八戸		3		6	10	10	10	8	15	32	80	73	108	175	229	292	201	123
五所川原					2		3	2	12	13	40	66	92	91	77	69	69	42
上十三		2	1	8	16	22	46	26	74	53	66	64	115	150	113	91	82	45
むつ			2	4	26	61	53	78	62	71	109	84	59	43	24	44	31	25
青森市	2		1	6	9	11	16	38	67	138	191	188	211	271	160	155	162	82
合計	2	5	5	25	64	108	132	159	253	354	581	685	778	893	705	771	555	379

年齢区分別(人)

週	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
～5ヶ月				3	3	5	7	7	3	2	6	1	1	4	2		3	
～11ヶ月		4	7	13	12	26	35	18	16	16	11	16	18	11	13	13	9	5
1歳	2	5	23	47	77	82	75	64	46	53	46	43	36	39	34	42	23	17
2歳	4	3	16	47	65	89	78	58	45	48	44	44	39	56	32	41	23	13
3歳	1	1	17	50	73	90	80	53	58	34	42	45	60	60	70	55	45	23
4歳	1	8	25	63	116	94	94	76	74	71	64	61	68	91	88	80	42	28
5歳	2	5	23	76	122	89	111	95	82	74	63	76	63	71	85	64	59	24
6歳	1	3	29	70	96	107	101	64	67	67	54	74	61	84	58	54	35	29
7歳	1		13	72	72	103	101	71	55	62	57	59	55	70	47	80	49	22
8歳	1	3	14	66	55	87	54	57	62	43	47	65	67	60	36	50	31	19
9歳		2	7	58	64	79	59	54	50	38	35	63	47	46	20	32	25	17
10～14歳	1	4	29	99	145	220	201	154	139	137	211	233	203	204	63	111	145	84
15～19歳	3	9	18	42	51	64	68	28	32	33	54	46	46	60	37	54	52	23
20～29歳	2	10	35	39	48	57	78	52	41	46	49	52	49	24	33	20	25	12
30～39歳	6	20	47	68	95	105	157	100	82	70	68	66	78	72	69	48	29	14
40～49歳	3	18	60	92	103	104	116	84	74	66	66	58	76	59	38	36	43	19
50～59歳	2	22	45	65	71	87	91	76	72	55	47	56	40	46	44	35	31	15
60～69歳	3	18	32	58	61	57	80	69	37	52	51	43	39	28	22	34	23	13
70～79歳	1	5	14	27	26	27	33	27	42	20	18	26	30	17	18	20	24	14
80歳以上	1	2	9	14	13	15	24	13	21	11	15	14	20	21	14	18	9	9

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第7週～2016年第17週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
7	H28.2.15 ~ H28.2.21				E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
9	H28.2.29 ~ H28.3.6			梅毒1人			
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		侵襲性肺炎球菌感染症1人			クリプトスポリジウム症1人	
11	H28.3.14 ~ H28.3.20						
12	H28.3.21 ~ H28.3.27		梅毒1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
13	H28.3.28 ~ H28.4.3		梅毒1人				
14	H28.4.4 ~ H28.4.10		レジオネラ症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人			
15	H28.4.11 ~ H28.4.17						
16	H28.4.18 ~ H28.4.24						
17	H28.4.25 ~ H28.5.1			A型肝炎1人			アメーバ赤痢1人

VII 結核(二類全数把握疾患) (2016年第7週～2016年第17週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
7	H28.2.15 ~ H28.2.21	2	1	1	1		
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	1	1	2		1	
9	H28.2.29 ~ H28.3.6		1	1	1	1	
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		1	2			
11	H28.3.14 ~ H28.3.20		2	5			
12	H28.3.21 ~ H28.3.27		1	4	1		
13	H28.3.28 ~ H28.4.3	1	2	1	1		1
14	H28.4.4 ~ H28.4.10	1	2			1	
15	H28.4.11 ~ H28.4.17		2	1	1		1
16	H28.4.18 ~ H28.4.24	2		4			1
17	H28.4.25 ~ H28.5.1	1		3	1	3	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注: 発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第16週累計)

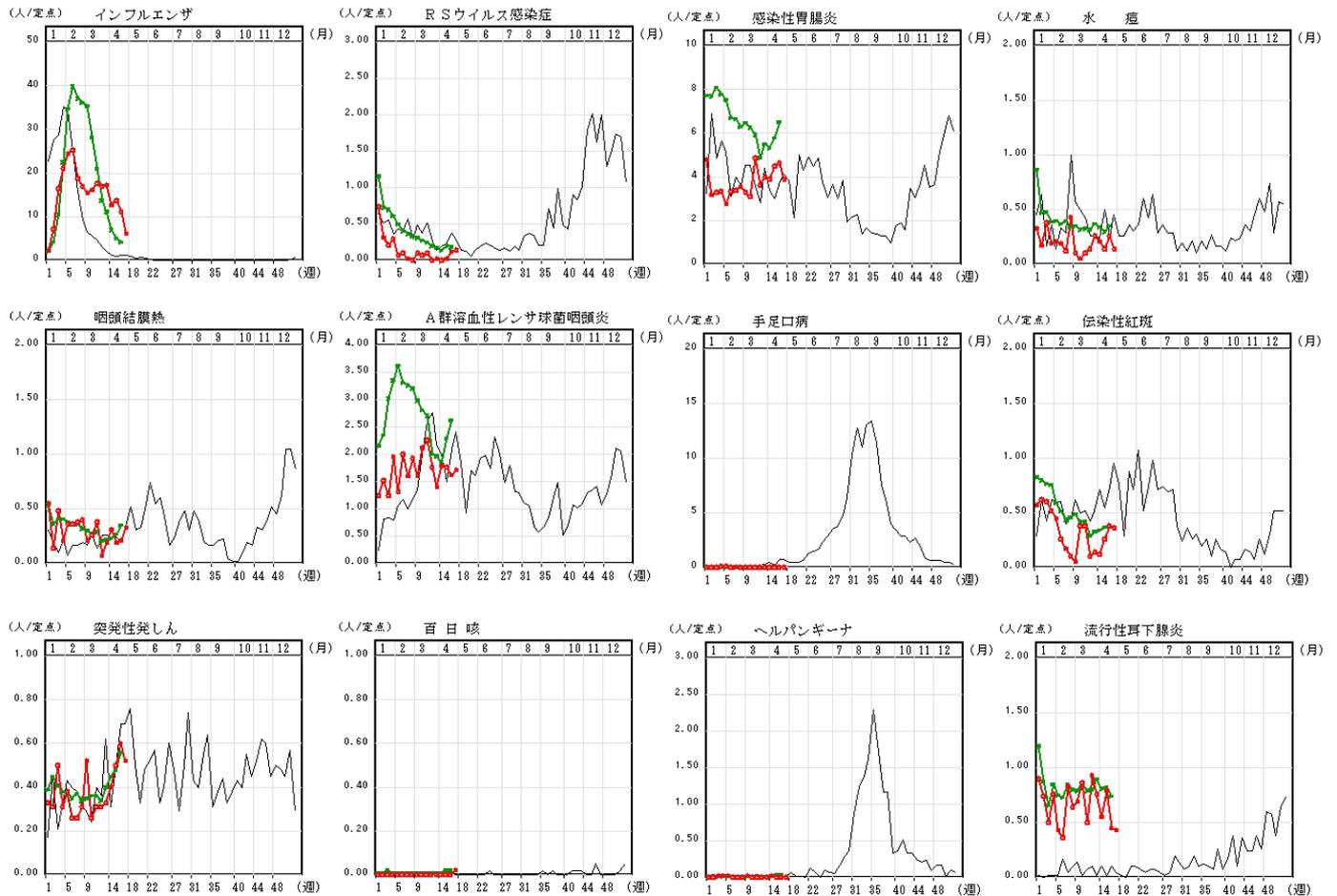
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類		
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回腸熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリス症	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	
累積報告数	6913	43	203	15	5	132	122	3	1	1	5	5	2	48	109	16	1	14	317	3	370	74	401	346	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	創傷型溶血性レンサ球菌感染症	壊天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	ハンコマイン耐性腸内細菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
累積報告数	4	80	171	452	21	111	18	1003	79	1134	38	23	12	36	5	13									

青森県 (2016年第1週～第17週累計)

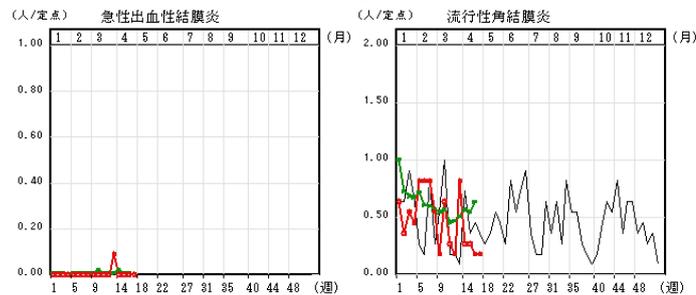
分類	二類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	創傷型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒			
累積報告数	92	4	1	1	2	2	8	1	1	1	3	1	4			

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第17週、但し全国は前週)

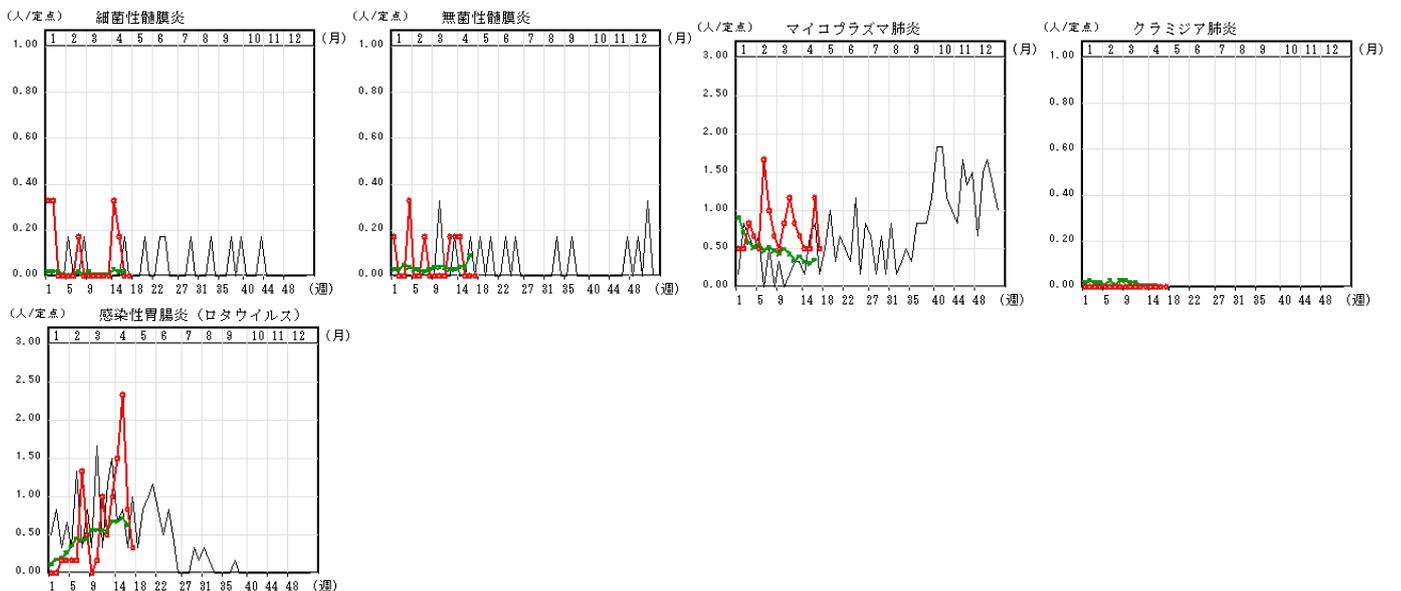
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第17週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第17週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第17週
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	0	6
	発症者数	0	84	13	45	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	0	2
	発症者数	0	26	0	0	0	26
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	0	11
	発症者数	0	110	24	79	0	213